

「第3回 那賀川学識者会議」の開催について

－那賀川水系河川整備計画の点検報告について－

「那賀川水系河川整備計画」は四国地方整備局と徳島県の共同により平成19年6月に策定されています。計画には「安全で安心できる那賀川水系の未来が拓ける川づくり」を基本理念として、治水、利水、環境の観点から、計画策定後30年程度の間を実施する具体的な河川整備の内容が定められ、那賀川河川事務所と徳島県では、鋭意計画に基づく河川整備を実施しています。



一方、計画策定後に発生した東日本大震災や大規模出水による浸水被害により新たに得られた知見に対しては、現行の計画では十分な対応が不可能であり、計画変更の必要性が判明しました。

そのため、現在の計画の進捗状況等をご確認いただくとともに、計画変更等についてご意見をいただくため、河川に関する各分野から総勢12名の学識者のご出席のもと、1月31日、阿南市プラザホテルにおいて「第3回 那賀川学識者会議」を開催しました。



委員長には、特に那賀川への造詣が深い阿南工業高等専門学校湯城豊勝教授（副校長）にご就任いただき、委員長の進行により2時間にわたって活発な議論が交わされました。



今回の会議において各委員から頂いた主なご意見等は、下記のとおりです。

- ・水質など定期的に検査しており、経年変化が無いことが確認されたが、地元住民に変わった事はないか、聞き取りしてみる事も必要ではないか？
- ・津波対策事業で、国と県の連携は取れているか？
- ・築堤した箇所については、築堤前後で河道に変化は無いか？
- ・点検資料により、事業の進捗が段階的に進んでいるのは良く分かった。今後は、会議により、事業の進捗について、いつの段階で、どのメニューをいつまでに実施するのかを議論していくべきである。
- ・このような会議を実施し、結果を残すことも重要である。

結びには、全会一致で新たな視点を取り入れた整備計画の変更が必要とのご意見をいただきましたので、今後は整備計画変更に向けた作業を進めていきます。また、進捗状況の現地見学を実施します。